



NPO 法人 京都観光文化を考える会

都草だより

第16号
 発行人：坂本孝志
 編集人：西野嘉一
 発行所：京都市上京区
 下立売通新町西入
 京都府庁旧本館2階
 電話：075-451-8146

◆ 第二回 研修・親睦バス旅行



今回は会員の皆様に北紀州の素晴らしい国宝をじっくり観賞していただきたく三ヶ所の訪問先を選出しました。まず長保寺での観賞ポイントは中世を代表する建造物群がまとまって残る国宝（大門、本堂、多宝塔）と、紀州徳川家の菩提寺として歴代藩主が眠っている広大な廟所です（但し第5、13代は東京）。次に訪れた藤白神社は、平安時代以降熊野御幸の盛期には最も格式の高い五躰王子の一つとして崇敬された王子で、阿弥陀如来、薬師如来、千手観音が本地仏として祀られています。最後の訪問地である根来寺の見どころは何と言っても国宝の多宝塔！高さ 40 メートル、幅 15 メートルの日本最大の大塔です。あちらこちらで歓喜の声が上っていました。

昼食は日本料理店（神田屋）で美味しいお弁当に舌鼓を打ち大満足。目にも、耳にも、舌にも充実した研修・親睦旅行になりました。（理事 中江好喜）

「紀州の国宝に魅せられて」

今回の紀州の国宝めぐりは「これ以上の紀州国宝巡りバスツアーはないでえ〜。」と中江理事太鼓判コースです。長保寺では現存する大門、本堂、多宝塔（すべて国宝）や古建築の見方や伽藍配置の詳細解説を。参道で売られていた紀州みかんが完売になり、みかんの香り一杯のバスで「藤白神社」へ。林監事のお知り合いの宮司さんから宇多・花山・白河・後白河院が熊野詣の際にお参りになった「藤白王子権現本地仏」のお話。有馬皇子神社等を参拝した後、料亭「神田屋」さんへ。ゆったりとした座敷で味の彩が織りなす「美味しい！」としか言いようがない昼食。バスの中で解説を聞きながら根来寺へ。見事な紅葉の参道を抜け壮大な大塔（多宝塔）に圧倒されながら歴史の深みを体感した一日でした。（会員 高坂和彦）

◆ 都草忘年会

12月15日（土）に「松井別館花かんざし」において平成24年の都草忘年会が行われました。宴会に先立ち美化活動表彰式がはじめて実施され、受賞者には



会場から大きな拍手が送られました。芦田理事の軽妙な司会で始まった宴会は、集まった50名以上の会員それぞれが会話に花を咲かせ、和やかで楽しい雰囲気でした。余興として恒例の都草芸能部会（非公認！！）の「トリオロスバカボンズ一座」による中国語の歌に合わせた踊りが披露され、会場は笑いに包まれました。福井・伴仲・小松様、会を盛り上げていただき有難うございました。特に小松理事の深紅の妖艶なチャイナ服姿は、しばらくは出席者の脳裡から消えないでしょう。また、中江理事による「京都クイズ」は、今回は古社寺の名称を当てる問題でした。他の宴会の席では絶対に盛り上がらない内容が、都草忘年会では大好評を博するのですから不思議です。

都草は創立以来6年目を向かえ、お陰様で京都でも有数のNPO法人に育ちました。これからは都草が主体の、都草だからこそ出来る活動を展開していきたいと考えています。忘年会席上で会員の皆様といろいろお話をさせていただき、その感をさらに強く持ちました。最後に忘年会の準備をしていただいた事務局の皆様はじめ、ご協力頂いた会員の方々に厚く御礼申し上げます。（理事長 坂本孝志）

◆◇ 会員の紹介 ◇◇



「興味の尽きない奥深い歴史の探求」

京都に生れ育った私は昨年喜寿と金婚式を迎えました。京都へのこだわりは若い頃からで、石碑や駒札を尋ね歩いている間に、徐々に嵩じて名称地蔵、辻子、仁丹の表示板、鍾馗さん、地名、町名、通名など興味が尽きません。最近では誰も着目しない分野の事柄を探求しています。その一端が以前に研究発表した、本尊美利茶道（リチャード・ポンソンビー）や中川重麗（しげあき）の事です。京都は千二百年の奥深い歴史の中に様々な事象が堆く積み重なっています。まだまだ知り得ない事が沢山あると思います。私は手描友禅の道一筋の職人です。一日中ラジオを聴き乍らの生活ですので、耳学問には打って付けの環境です。ある時、「お地蔵さんには名前がござる」というNHKのラジオ番組で、全国から様々なお地蔵さんを募集することになりました。早速私は京都にある350余りの名称地蔵を報告したので大変驚かれ、司会担当のアナウンサー

が事前に京都へ取材に来られました。そして私は電話での番組参加となり放送されました。NHKとの関わりはその頃からで総て京都の関わりです。

実は友禅染の職人として弟子入りする頃、漫画家志望も抱いていました。手塚治虫さんに何度か作画を送り、アシスタントに来ないかとお誘いも頂いたこともあります。その頃は十代でもあり踏ん切りがつきませんでした。最近、当時の貴重な資料を京都国際マンガミュージアムへ寄贈したところ大変喜ばれ感謝され、その場で特別研究員として登録されました。余生の続く限り努力しますので宜しくお願い致します。（会員 山本喜康）

◆◇ 「京都府庁旧本館秋の一般公開」ボランティアガイドに参加して ◇◇



去年の夏に入会し、主に美化活動に参加してきました。昨今、他の行事の参加もと考えていましたので京都府庁旧本館のガイド募集に応募し、3日間務めました。京都市内での生活が長く、旧本館は歴史のある格調高い建物と基礎知識は持っていました。今回ガイド用の説明資料を読み、現地レクチャーも受け、当時の人々が大変な思いを持って建設したことを学びました。初日はその魅力を理解していただくとう力が入り、ガイドの押し売りになってしまい、「これはいかん」と帰りの電車で反省。二日目、三日目は、来訪者が気持ちよく見学していただくのが一番と、自然体で一步下がってのガイドを心掛けました。ただし、上手くいったかどうか全く自信がありません。同時にガイドにあたっての力不足も痛感しました。素晴らしい会に入れていただいたことに感謝しています。体力、気力が許す限り行事には積極的に参加していきたく

と考えていますのでよろしく申し上げます。（会員 羽田徹夫）

春は中庭の桜、秋は正庁の窓から見る釜座通の櫓の紅葉と、来訪者には館内と共に、楽しんで頂いています。子供時代にガガーリンさんをバルコニーの下から見たという方、パスポートを貰いにきて以来何十年ぶりに訪れた方、この空間の居心地がよくて「公開の度に訪れます。」と言われる方もあります。古く趣のある洋館に関心のある方、遠方の方、近くの方、初めての方など様々ですが、見学される方の興味を持たれる方向を見極めながら、心地よいバックグラウンドミュージックの如くお耳に届くといいなと思って務めさせていただいております。（会員 須山里己）

